

令和 8 年 8 月 13 日
独立行政法人国立病院機構

「令和 8 年熊本地震」における 国立病院機構の支援活動について（第 11 報）

令和 8 年 7 月 28 日（火）に発生した「令和 8 年熊本地震」における国立病院機構の支援活動について、令和 8 年 8 月 13 日（木）16：00 時点の状況は以下のとおりです。

国立病院機構は、引き続き支援活動に取り組んでまいります。

1. 国立病院機構（NHO）の主な動き

- 7 月 28 日 災害対策本部を設置（国立病院機構本部〔東京都目黒区〕）
NHO 病院が DMAT に参加開始
- 7 月 29 日 現地災害対策本部を設置（国立病院機構熊本医療センター〔熊本県熊本市〕）
- 7 月 30 日 初動医療班が活動開始
- 8 月 1 日 医療班が活動開始

2. 初動医療班の派遣状況

初動医療班 2 チームを編成し、熊本県内の医療機関での医療支援等を実施しました。（7 月 30 日から 8 月 2 日まで活動しました。）

活動場所	派遣病院
県央南活動拠点	長崎医療センター 福岡東医療センター

3. 医療班の派遣状況等

医療班 4 チームを編成し、熊本県内の医療機関、避難所等での医療支援等を実施しています。（8 月 1 日から活動を開始しております。）

また、8 月 7 日より熊本県内の避難所等へ看護師派遣を開始しております。

活動場所	派遣病院
県南活動拠点	指宿医療センター 宮崎東病院 大分医療センター 都城医療センター

4. D M A T（※）におけるN H Oの活動状況（8/13 16：00時点 活動中D M A T）

活動場所	派遣病院
熊本県庁	水戸医療センター 三重中央医療センター
八代市役所	横浜医療センター 四国こどもとおとなの医療センター
八代保健所	高崎総合医療センター
宇城広域連合事務局	長崎医療センター 金沢医療センター

（※）D M A T：大地震及び航空機・列車事故等の災害時に被災者の生命を守るため、被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を行うための専門的な訓練を受けた医療チーム

（※）D M A Tの活動状況は原則E M I Sの情報に基づき記載

5. D P A T（※）におけるN H Oの活動状況（8/13 16：00時点 活動中D P A T）

活動場所	派遣病院
—	—

（※）D P A T：自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの集団災害の後、被災地域に入り、精神科医療および精神保健活動の支援を行う専門的なチーム

（※）D P A Tの活動状況は原則E M I Sの情報に基づき記載

< 参考 >

初動医療班、医療班、D M A T、D P A Tの基本構成

初動医療班：5名（医師1名、看護師2名、事務職1名、薬剤師等1名）

医療班：4名（医師1名、看護師2名、事務職1名。

必要に応じ、薬剤師1名を班の構成員として加える。）

D M A T：4名（医師1名、看護師2名、業務調整員1名）

D P A T：数名（精神科医師、看護師、業務調整員）

【 本件に関する問い合わせ先 】

独立行政法人国立病院機構

本部 総務部広報文書課 榊原、西山

電 話 03-5712-5062

メール 700-koho@mail.hosp.go.jp